

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
		小学校教育用パソコン事業 中学校教育用パソコン事業	総務教育分科会

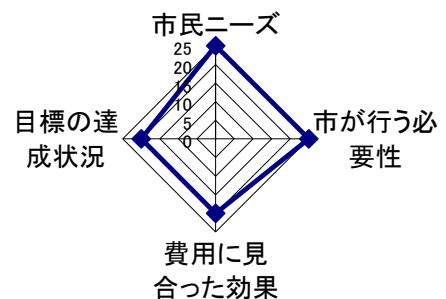
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 小中学生とその保護者及び先生	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○ 25	タブレットを用いたICT教育は、小中学生や保護者、先生にとってはこれからの高度情報通信ネットワーク社会に対応するため、ニーズがきわめて高い。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 学校教育の一環でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○ 25	国策として打ち出しているもので、行政がやるべき。また、学校でやらなければ公平な教育にならない。
(3) 費用は適正か 〔評価の視点〕 目的外機器を含んだパッケージ化した契約は適正か ※費用に見合った効果となっていたが、タブレット導入して1年経過していない為、適正とした。	①きわめて適正である(25点) ②適正である(20点) ③どちらかといえば適正である(15点) ④どちらかといえば適正でない(10点) ⑤不適正である(5点) ⑥きわめて不適正である(0点)	○ 20	目的外機器が何を指すのか分からないが、高速レーザープリンター、フルカラーコピー機は十分活用されており、3Dプリンターは次年度から活用する予定になっている。5年間のリースなので最新の機器を導入することは適正である。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 守谷市情報教育全体計画を参照頂き、児童生徒の学習意欲を高め、情報機器に慣れ親しむ、新しい時代に対応した教育の実施がされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○ 20	情報機器に慣れ親しむ環境にある。市の小中一貫情報教育指導計画に基づき、学校間のTV授業や会議を積極的に行っており、生徒達の学習意欲も高まっている。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	90
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
タブレットは約3人に1台の割合で配置されている。高度情報通信ネットワーク社会に対応する教育が行われており、児童生徒の学習意欲も高まっている。

課題と反省

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
		小学校教育用パソコン事業 中学校教育用パソコン事業	総務教育分科会

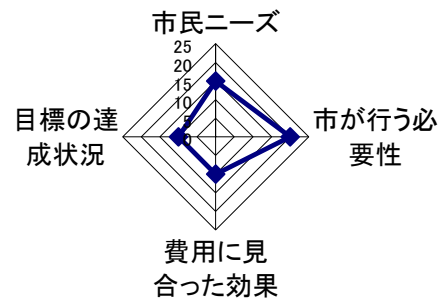
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 小中学生とその保護者及び先生	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	保護者などの十分な意見を聞くことや専門職を増やすこと
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 学校教育の一環でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	理科、音楽等教育の向上に分かりやすい近代の時代の流れで、子どもがこれなら分かるきっかけをつかむことが重要。教師の創意工夫も必要。
(3) 費用は適正か 〔評価の視点〕 目的外機器を含んだパッケージ化した契約は適正か ※費用に見合った効果となっていたが、タブレット導入して1年経過していない為、適正とした。	①きわめて適正である(25点) ②適正である(20点) ③どちらかといえば適正である(15点) ○ ④どちらかといえば適正でない(10点) ⑤不適正である(5点) ⑥きわめて不適正である(0点)	10	検証が不十分
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 守谷市情報教育全体計画を参照頂き、児童生徒の学習意欲を高め、情報機器に慣れ親しむ、新しい時代に対応した教育の実施がされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	検証を続けること。授業に画像での判断どこまで承知なのか。画像どおりに実施できないことを感じる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
専門家を増やし、慣れることは必要。得意としない科目にも見つけることができるきっかけは、その子供の特徴を見つけること。先生の負担が多くなるのではと危惧する。

課題と反省

平成29年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
		小学校教育用パソコン事業 中学校教育用パソコン事業	総務教育分科会

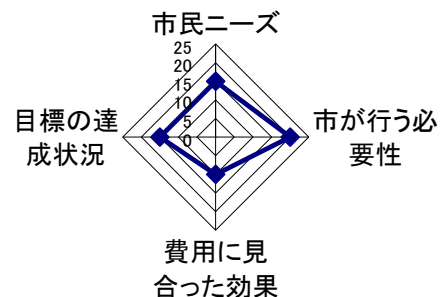
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 小中学生とその保護者及び先生	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	検索や写真、動画の利用など、学習手段の幅が広がり、意欲のある学生・保護者にとってのニーズは高い。また、情報端末の普及率は家庭の経済状況によって格差が生じる面もあり、格差の解消も図ることができる。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 学校教育の一環でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	文科省の方針では、教科書の電子化も視野に入れられており、将来的に1人1台の端末が必要になる可能性は高い。現時点からの対応が必要。
(3) 費用は適正か 〔評価の視点〕 目的外機器を含んだパッケージ化した契約は適正か ※費用に見合った効果となっていたが、タブレット導入して1年経過していない為、適正とした。	①きわめて適正である(25点) ②適正である(20点) ③どちらかといえば適正である(15点) ④どちらかといえば適正でない(10点) ○ ⑤不適正である(5点) ⑥きわめて不適正である(0点)	10	おおむね適正であるが、windowsタブレットである必要があるのか、パソコン教室にタブレットを配備する必要あるのか、3Dプリンタが活用されていない、職員室に目的外の機器が導入されているなど、不合理な点も見受けられる。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 守谷市情報教育全体計画を参照頂き、児童生徒の学習意欲を高め、情報機器に慣れ親しむ、新しい時代に対応した教育の実施がされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	情報活用能力の向上には効果があると考えられるが、学習意欲の向上に繋がっているかは不明。本事業はスタート後間がなく、今後の検証が必要。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由
情報端末の配備は長期的には必須になる可能性が高く、段階的に準備をしておく必要がある。 見積もりの金額は一式で表示されており、5年リースで543,000,000円。内容を見ると事業の目的外のもの、必要性の低いものなどが購入されている部分があると感じる。 情報端末整備関連の経費は今後とも高止まりが予測され、リースアップの時期などに購入リストの見直しが必要。

課題と反省
事業の目的として、情報機器への親しみ、活用能力の向上だけでなく、学習意欲の向上も重要視されている。 機器の充実が学業成績アップに繋がっているかなど、今後は具体的・数値的な効果の検証も必要であり、機器を配備すること自体が目的とならないとすることが重要。

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
		小学校教育用パソコン事業 中学校教育用パソコン事業	総務教育分科会

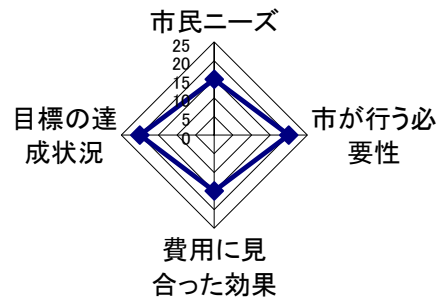
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 「評価の視点 小中学生とその保護者及び先生」	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	使用している授業では生徒はパソコンを十分、使いこなしているように見受けられた。父兄の意見は聞くことが出来ず不明。先生方の授業の下準備が重要だと感じたが、その時間が十分確保されているのかは分からない。
(2) 市が行う必要性 「評価の視点 学校教育の一環でやらねばならないのか」	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	従来の紙をベースにした読み書きの教科書から、ICTを活用した学校教育の情報化は、導入の遅い早いの差があっても、推進されていくのは明白です。守谷市が他市に先駆けて学校教育の一環として取り組むことは、将来の子供への投資としてやるべき。
(3) 費用は適正か 「評価の視点 目的外機器を含んだパッケージ化した契約は適正か ※費用に見合った効果となっていたが、タブレット導入して1年経過していない為、適正とした。」	①きわめて適正である(25点) ②適正である(20点) ○ ③どちらかといえば適正である(15点) ④どちらかといえば適正でない(10点) ⑤不適正である(5点) ⑥きわめて不適正である(0点)	15	一般財政からの支出になるので、地域間格差が出る。早く導入した地域では効果が出るが、優れた機器や十分な台数の確保など、投入される財政負担とその効果について、常にトップレベルを目指すのか、一段下のレベルで十分と判断するのか意見が分かれる。
(4) 目標の達成状況 「評価の視点 守谷市情報教育全体計画を参照頂き、児童生徒の学習意欲を高め、情報機器に慣れ親しむ、新しい時代に対応した教育の実施がされているか。」	①きわめて成果がある(25点) ○ ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	スマホやタブレット端末の普及が情報機器を持ち歩き、瞬時に情報を得られる時代になり、教育ツールとしての活用は必然性がある。但しその運用面の教育ソフトの充実と教師の役割の明確化が同時に実現しなければ、単なる電子機器の箱物になってしまう。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

今回の事業仕分けの目的が事業内容の精査にあると思います。一般財源からの支出が平成27年から29年にかけて大きく増加しており、その支出内容について誰がどのような基準で小中への教育用パソコンの導入を決めたのか、その活用の実態がどのようになっているのかを小中校への実地調査と見積もり内容と現品の使用状況を確認した。小中校のタブレットや電子黒板を使った授業風景は予想以上に活発に使用されており、将来を担う子供たちへの投資としてはやるべきだと感じた。但し3Dプリンターや一部ソフトの使用についての疑問や、パソコン導入当初、活用していたパソコン教室については再検討が必要に思います。導入後の検証を十分に行い不要な部分は削除する見直しを行うべきと考えます。

課題と反省

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
		小学校教育用パソコン事業 中学校教育用パソコン事業	総務教育分科会

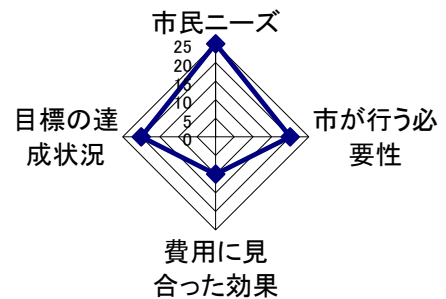
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 小中学生とその保護者及び先生	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	25	タブレット、電子黒板を利用した授業、およびタブレットの利用率(稼働率)からニーズの高さがわかる。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 学校教育の一環でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	文科省は2020年度からデジタル教科書導入を計画し、現時点ではタブレットを部分的に使うことが適当と提言している。また、児童生徒3.6人にタブレット1台を配置することを指標としており、市が行う必要性は極めて高いと考える。
(3) 費用は適正か 〔評価の視点〕 目的外機器を含んだパッケージ化した契約は適正か ※費用に見合った効果となっていたが、タブレット導入して1年経過していない為、適正とした。	①きわめて適正である(25点) ②適正である(20点) ③どちらかといえば適正である(15点) ④どちらかといえば適正でない(10点) ⑤不適正である(5点) ⑥きわめて不適正である(0点)	10	タブレットの配置については、上述の通り適正と考えるが、リース契約にはフルカラー高速プリンター、及び3Dプリンター賞状用プリンター等が含まれており、それらが十分に活用されているか疑問である。また、当該費用に含まれていない消耗品費についても検証が必要と考える。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 守谷市情報教育全体計画を参照頂き、児童生徒の学習意欲を高め、情報機器に慣れ親しむ、新しい時代に対応した教育の実施がされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	タブレットを活用した授業により、児童生徒の学習意欲を高め、情報機器に慣れ親しむ、新しい時代に対応した教育が実施されつつある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
<p>タブレットを活用した授業は創意工夫され、生徒児童がそれらに順応している授業風景を確認することができたことから、当該事業の重要性を改めて認識した。他方、当事業の予算には、各種プリンター等、パソコン(タブレット)以外の機器のリース料を含んだパッケージ化された契約であるため、個別機器の費用の適当性が不透明な部分がある。</p> <p>成果の見える化として、他市で行っているプレゼンテーションコンテンツ等の取組みを考える必要がある。</p>

課題と反省